

柳津小学校だより

# 鳴神山



2021, 2, 15 No, 44

柳津町立柳津小学校

発行者 校長 星 潔



## 楽しかったねスキー教室・そり遊び！

2月5日（金）の5，6年生からスタートした今年度の校内スキー教室。10日（水）の3，4年生。12日（金）の2年生と無事に終了しました。1年生は10日に、会津自然の家でのそり遊びを満喫しました。昨年は雪不足のため中止になったスキー教室。今年度は新型コロナウイルス感染症のため実施については検討を重ねてきましたが、学校だより41号に掲載したとおり、下記の理由で実施を決断しました。

- ・文部科学省「学校の新しい生活様式」により、屋外での運動制限がないこと。
- ・2月14日まで制限がある「児童生徒が密集する運動」「近距離で組み合ったり接触したりする運動」でないこと。
- ・会場のフェアリーランドかねやまスキー場が、他のスキー客との接触がほとんどなく、密にならないスキー場だということ。
- ・大自然の中で心と体を開放して行う体験活動が、子どもたちの心と体力の向上に大いに役立つこと。

子どもたちの表情が改めて「やってよかった」と感じさせてくれました。家庭においても自粛生活が続く中、大自然の中で心も体も開放する体験活動は、子ども達の非認知能力の向上に大いに役立ったと思います。保護者の皆様におかれましては、ご理解、ご協力をいただきましたこと心から感謝いたします。ありがとうございました。



## 食育授業

6年生が、学級活動「正しいはしの持ち方を知ろう」の学習を行いました。6年生とはいえ、正しいはしの持ち方を忘れていたようです。栄養教諭より改めて正しい箸の持ち方を学びました。そしてその持ち方で豆つかみを行いました。さすが6年生。ほとんどが上手につかめていました。また「迷いはし」など、はしのルールについても確認しました。6年生だけではなく、全校生が正しいはしの持ち方ができるといいですね。ご家庭でも見ていただくと大変ありがたいです。



3年生では「バランスのよい食事」をテーマに学習しました。食べ物をバランスよく食べることが、丈夫で健康な体をつくることにつながることに気がきました。これからは苦手なものでも、少しは頑張っ  
て食べようという気持ちになったようです。ご家庭でも、ぜひ励ましていただければ幸いです。



## 校長のひとりごと

2月5日(金)に5,6年生と一緒にフェアリーランドかねやまスキー場に行ってきました。なぜだか分かりませんが、巷では、校長が屋外行事に参加すると天候が悪くなるという良くない噂が流れています。気にしていないようでいて、実はものすごく天候を気にしている私。今回もずいぶん前から、複数の天気予報サイトをチェックしていました。今回は曇りから晴れになる予報。安心はしていたのですが、やはり当日は不安でした。柳津町は晴れのいい天気。金山町に車を走らせていっても、日差しが差し込む最高のスキー日和となりました。心の底から安心しました。

それにしても子ども達は本当にいい表情でスキー学習に取り組んでいました。体験活動は子ども達の心を成長させます。思考力を成長させます。社会性を成長させます。バーチャルの時代になりつつありますが、直接体験の重要性は、どんな時代になろうとも不変だと思います。文部科学省も、デジタルかアナログか、遠隔・オンラインか対面・オフラインかといった「二項対立」ではなく、教育の質の向上のために、発達の段階や学習場面等により、どちらの良さも適切に組み合わせて活かしていくことが大切だと目指すべき「令和の日本型学校教育」で述べています。私たちもバーチャルと体験活動の両方のよさを組み合わせて、これからの時代を生き抜いていける子ども達を育てていきたいと思ひます。困難な時代だとしても、可能な限り体験活動を充実させていかなければいけないと強く感じたスキー教室でした。